



さかん 左官

たんとう ぬ かべ
担当：塗り壁



しっくいかべ じゅうかくかべ せこう おこな
漆喰壁・聚楽壁などの施工を行います。ひび
割れなど無い均質な壁を施工するためには、
必要箇所は一度にムラなく施工するスピード
と、乾燥養生期間との調整が肝要です。

More info 全国文化財壁技術保存会

<http://kabehozokai.sakura.ne.jp>

ばんきん 板金

たんとう きんぞくせんぱん
担当：銅板葺き屋根、樋



どうばんぶつ やね ふくざつ
銅板葺きの屋根および、複雑な
屋根形状の収まりに据えられる
樋などの修理を担当。銅板は施
工性が高いため様々な形に収め
ることが可能ですが、そのため
には綿密な設計と正確な施工と
が重要になります。



かわらぶき 瓦葺

たんとう おねかわら
担当：棟瓦



こんかい ひわだ こけらぶ おねぶぶん たんとう
今回は椴皮・柿葺きの棟部分を担当していま
す。葺替にあたっては劣化しすぎて再利用で
きない瓦と、再利用できる瓦を選別しますが、
選別の際には「瓦を叩いたときの音の違い」
で判断を行います。

More info 公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会

<http://www.shajiyane-japan.org/>

とび 鳶

たんとう すやね こうじょう かせつ おおいたでの
担当：素屋根（工事用の仮設の覆建物）



げんだいぎじゆつ てんとう わざ
現代技術？ いえいえ、伝統の技です。
現在では足場と言えばハイブを使った
ものが一般的ですが、今でも一部地域
では、昔ながらの丸太を藁縄で縛って
組んで作り上げる足場が用いられてい
ます。素屋根は仮の覆建物ですが、安
定性と頑丈さは折り紙付きです。



そうこう 装演

たんとう は つ かべ しきし
担当：貼り付け壁・色紙



かべ は つ へきが げんざい もの
壁に貼り付けられた壁画（現在の物はコロタ
イブ複製）の取外し・修理・再貼付けを行
います。壁面と紙とでは温湿度差によるズレや
横揺れに対する挙動が異なるため、ゆとりを
持たせて貼り付ける技法が用いられます

More info 一般社団法人 国宝修理装演師連盟

<http://www.kokuhoshuri.or.jp>



うるしぬり 漆塗・彩色

たんとう うるしぬり いたえ
担当：漆塗、板絵



たてぐ うるしぬり え どじだい えが いたえ ちょう
建具の漆塗と、江戸時代に描かれた板絵の調
査・維持修理を担当しています。色彩は経年
で剥落や褪色など劣化してしまうことがあり、
修理工事の時点で現在の色彩を止め剥落止め
を施すか、彩色を復元するかを検討します。

More info 公益財団法人 日光社寺文化財保存会

<http://www.nikko-bunkazai.or.jp>



たてぐ 建具

たんとう たてぐ ほしゅう たてつ ちょうせい
担当：建具補修・建付け調整



せいち くみこ ちょうこく らんま しょうじ しゅうり
精緻な組子や彫刻の欄間・障子の修理と、
日々動かす建具の建付け調整も行いま
す。同じ木材を扱う仕事でも大工仕事よ
り規模が格段に小さいので、ミリ単位の
仕事が求められます。

More info 一般財団法人 全国伝統建具技術保存会



たたみ 畳

たんとう たたみしき
担当：畳敷



たいしんほきょう たたみ いったんとりはず ほきょう
耐震補強のために畳を一旦取外し、補強
工事後元に戻す作業を行いました。昔な
がらの重い藁床の畳、その総数は100枚
以上！ 取外す際は全てに目印をつけ、
それをもとにすべて元の位置に戻してい
きます。

More info 文化財畳保存会

<http://bunkazai-tatami.com/>

うんばん 運搬

たんとう たてぐ うんばん
担当：建具の運搬



たいしんほきょう たてぐ すべ とりはず い
耐震補強のために建具などは全て取外し、移
設が行われましたが、臨春閣の建具は繊細で
価値の高いものであるため、その運搬は美術
品運搬の専門家がを行いました。保管箱も精度
の高い特注品、虫の入る隙間もありません。

More info 美術品梱包輸送技能取得士資格認定事業（公益財団法人日本博物館協会）

<https://www.j-muse.or.jp/02program/projects.php?cat=12>

ぼうさいせつび 防災設備

たんとう ひらいしん かせい かんち ほうち せつび
担当：避雷針、火災感知・報知設備



もくぞう かねんせい そざい つく やね も けんぞう
木造で可燃性素材で作られた屋根を持つ建造
物にとって火災は大敵。雷火災を防ぐための
避雷針や、万が一火災が発生した時にすぐに
感知し報知するためのシステムの維持管理も、
文化財建造物の維持保存には欠かせません。

More info 文化庁

「国宝・重要文化財（建造物）の防火対策ガイドライン」